

大学・地域共創プラットフォーム香川  
令和4年度第2回運営委員会 議事次第

開催日時：令和5年2月14日（火）10：30～12：00

開催場所：香川大学法人本部（4階）大会議室

高松市幸町1-1 幸町北キャンパス内

※遠隔会議システム（Microsoft Teams）を併用

議題

1. 大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の展開について

（資料1）

2. 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について

（資料2-1、2-2、2-3）

報告

1. 令和4年度事業の実施状況について

（資料3-1、3-2）

2. 令和4年度名義使用の許諾について

（資料4）

## 【大学・地域共創プラットフォーム香川】 令和4年度第2回運営委員会 出席者名簿

《2月14日（火）10時30分～》

（敬称略）

	構成員	委員所属名	委員職名	委員氏名	出欠状況	代理出席者
県内大学等	香川大学	-	理事・副学長	片岡 郁雄	出席（対面）	
	香川県立保健医療大学	事務局	事務局長	河西 浩一	出席（オンライン）	
	四国学院大学	リエゾン・センター	リエゾン・センター長	橋本 一仁	欠席	
	徳島文理大学	地域連携センター	センター長	中筋 政人	出席（対面）	
	高松大学	地域連携センター	センター長	西岡 達哉	出席（対面）	
	香川短期大学	-	副学長	齊藤 栄嗣	出席（対面）	
	高松短期大学	地域連携センター	センター長	西岡 達哉	出席（対面）	
	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	教授	安本 幸博	出席（オンライン）	
	香川高等専門学校	-	副校長	澤田 功	欠席	
経済団体等	香川県商工会議所連合会	高松商工会議所	専務理事	安藤 照文	出席（オンライン）	
	香川県商工会連合会	-	専務理事	宮武 卓朗	出席（オンライン）	
	香川県中小企業団体中央会	-	専務理事	岡 興司	出席（オンライン）	
	香川経済同友会	-	専務理事・事務局長	大谷 誠一	出席（オンライン）	
	香川県中小企業家同友会	事務局	事務局長	大森 基生	出席（オンライン）	
	香川県農業協同組合中央会	-	代表理事常務	岡田 孝浩	出席（オンライン）	
	香川県漁業協同組合連合会	-	代表理事専務	小濱 博	出席（オンライン）	
	香川県銀行協会	-	常務理事	久保 則正	欠席	
行政機関	高松市	市民政策局政策課	局次長兼課長	田中 照敏	出席【代理】	政策課 課長補佐 齋藤直樹（オンライン）
	丸亀市	市長公室秘書政策課	課長	窪田 徹也	出席【代理】	秘書政策課 担当長 宇野大志郎（オンライン）
	坂出市	政策部政策課	課長	大野 栄嗣	欠席	
	善通寺市	政策課	課長	佐藤 幸治	出席【代理】	政策課 課長補佐 小河啓二（オンライン）
	観音寺市	政策部ふるさと活力創生課	課長	黒川 順司	出席（オンライン）	
	さぬき市	総務部政策課	課長	間嶋 文一	欠席	
	東かがわ市	総務部 財務課	主幹	寺西 康博	欠席	
	三豊市	政策部地域戦略課	課長	開口 陽子	出席（オンライン）	
	土庄町	企画財政課	参事兼企画財政課長	鳥井 基史	出席【代理】	企画財政課 副主幹 九富崇（オンライン）
	小豆島町	企画財政課	課長	川宿田 光憲	出席【代理】	企画財政課 課長補佐 萬代正道（オンライン）
	三木町	政策課	課長	山地 修	出席（オンライン）	
	直島町	デジタル推進室	室長	前田 浩作	欠席	
	宇多津町	まちづくり課	課長	古川 憲男	出席（オンライン）	
	綾川町	総務課いいまち推進室	室長	福家 孝司	出席（オンライン）	
	琴平町	企画防災課	主幹	森本 卓也	出席（対面）	
	多度津町	政策観光課	課長	土井 真誠	出席（対面）	
	まんのう町	地域振興課	課長	松下 信重	出席（オンライン）	
	香川県	政策部	部長	淀谷 圭三郎	出席（対面）	

## 大学・地域共創プラットフォーム香川 事務局運営体制（香川大学）

R5.2.14

大学・地域共創プラットフォーム香川	会長	学長	笥 善行
-------------------	----	----	------

プラットフォーム（事務局体制）	局長	理事・副学長：産官学連携	片岡 郁雄
	副局長	理事・副学長：財務・県対応	国分 伸二
	次長	副学長：地域連携・産業界対応	城下 悦夫
	事務長	地域創生推進部（部長）	中屋敷 隆博
	事務担当（専任）	特命教授	藤澤 一仁
	事務担当	地域連携推進課（課長補佐）	石田 和一
	連携事務	教育企画課（課長）	後藤 雅美
		キャリア支援課（課長）	圖子 賀津美
地域連携推進課（シニアアドバイザー）		川端 義則	

## 大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の展開について

### 1. 本プラットフォームの目的

#### (目的)

県内大学等を基点に、産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与すること

#### (部会の役割)

- |             |  |
|-------------|--|
| 1)進学・教育部会   | 県内進学促進に向けた県内高校等との連携、県内大学等の情報発信、その他教育の向上等 |
| 2)就職・産業振興部会 | 県内就職の促進、地域と県内大学等の連携による共同研究、リカレント教育の推進等   |
| 3)地域活性化部会   | 地域を支える人材育成・定着、大学と連携した地域づくり等              |

### 2. 令和4年度の活動実績

#### (成果)

1. 前身組織における各種事業を整理統合し、本プラットフォームの事業として新たに展開した。
2. 各部会での意見交換等により、構成員間で課題を共有するとともに、新たな取組みに関する企画立案を行った。
3. 構成員間の情報伝達や共有を図るための情報基盤を整備した。

部会	主な取組み
進学・教育	合同進学説明会、出前講座、キャンパスガイドの作成・配布、公開授業参観、単位互換など
就職・産業振興	業種別オンライン県内企業見学ツアー、キャリア支援研修会、かがわーくフェアなど
地域活性化	アイデアソン(アイデアソンをもとにした観光学生企画)など
共通	ホームページ開設、情報共有ツールの導入

#### (課題)

1. 継続事業の効果検証や課題の把握を行い、より効果的なものとなるよう検討すること。
2. 構成員が主体的かつ積極的にプラットフォームの枠組みを活用し、実証的な取組みに挑戦できる仕組みを設けること。
3. 事業の企画立案機能を充実すること。

### 3. 令和5年度の展開

#### (運営)

1. プラットフォームを以下の共創の場と位置付け、その活用を推進する。
  - 1) 多様な構成員による議論・意見交換の場
  - 2) 新たな取組みを実証・実践する場、支援する場
  - 3) 私大等補助申請や国の事業申請のバックグラウンドとなる場
  
2. 積極的な取組みを促すため、以下を推進する。
  - 1) ワーキンググループの活用など、事業の企画立案を行う機能の強化
  - 2) プラットフォームの枠組みを活用した主体的かつ積極的に実証的な取組みの実施に向けた県の支援(助成)制度の活用

#### (事業)

令和4年度の実績を踏まえ、以下に取組む。

- 1) 構成員が、より主体的かつ積極的にプラットフォームの枠組みを活用して、実証的・実践的に取り組めるよう、「共創推進強化事業」の新設や県の助成制度の活用をはじめとする新規事業を展開する。
- 2) 継続事業については、これまでの取組みを精査の上、選定したものについて、内容の充実・強化を図る。

部会	主な取組み
進学・教育	キャンパスガイド(デジタル化)、県高P連と連携した保護者への県内大学の情報発信、高校教員に広く県内大学の理解を深める高大教員交流会 など
就職・産業振興	かがわーくフェア、キャリア支援研修会、学生による企業へのインタビューシップなど
地域活性化	学生等県内の若者主体の観光企画・情報発信や産官学連携に向けた県内企業や大学、自治体等の交流促進(他部会と連携)など
共通	タウンミーティングの開催、メタバース等を活用した地域DXの実証、プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業など

## 令和5年度事業計画(案)

## 1. 共創推進強化事業（共通）

取組	種別	内容
① 地域共創タウンミーティングの開催	新規	県内各自治体における、大学等と現地ステークホルダーとの意見交換等
② メタバース等を活用した地域DXの実証	新規	メタバース等を活用した就職・産業振興、進学・教育、地域活性化等に係る地域DXの取組みの実証
③ プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	新規	PFの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題解決に資する取組み

## 2. 高大連携・進学推進事業（進学・教育部会）

取組	種別	内容
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	継続	高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を拡充・強化
② 県内大学等合同進学説明会開催	継続	県内大学等への理解を深めるため、合同の進学説明会を県内高校に出向き、県内大学から県内就職した卒業生を加えて実施
③ 合同大学説明会・交流会開催	新規	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会・交流会を実施
④ 高大連携キャリアデザイン研修	新規	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修(大学等訪問受入)、広報誌やHPへの寄稿など
⑤ 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	継続	高校の「総合的な探究の時間」の活動への助言・指導等に大学等教員を派遣
⑥ デジタルキャンパスガイドの作成・公開	継続	大学ガイドをデジタル対応に刷新するとともに、ホームページで公開

### 3. 大学等連携強化事業（進学・教育部会）

取組	種別	内容
① 大学間の単位互換	継続	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学の開設科目の相互履修と単位認定を実施
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	継続	大学等教職員研修の共同実施
③ 国際交流会(学生)の開催	継続	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催
④ リスクマネジメント活動	継続	災害等に対するリスクマネジメント対応
⑤ 地域における高等教育の中長期ランドデザイン検討会	新規	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期ランドデザインを検討

### 4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取組	種別	内容
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	継続	各機関が連携して参加学生の拡大と新たな魅力づくりを行うなど、合同企業説明会の強化・充実
② 業種別オンライン県内企業見学ツアーの実施	継続	香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会の開催
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会の開催	継続	香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会の開催
④ キャリア支援研修会の開催	継続	学生の早期の就活マインド醸成のため、企業から講師を招聘し、就職活動の始め方等や企業研究の方法に関する研修会を開催
⑤ 学生の就職先選定等の実態把握と解析	新規	就職先選定に係る実態把握のため、県内の高等教育機関の学生に対し、アンケート調査を実施し、解析(地域活性化部会と連携)

### 5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取組名	種別	内容
① 学生による企業インタビューの実施	新規	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の実施
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	新規	高校、大学等のイベントに県産品を出展し、それらの生産・販売に係る企業・団体の情報・魅力発信

## 6. 地域活性化実証・実践事業（地域活性化部会）

取組名	種別	内容
① 学生等参画による観光等施策の展開	継続	学生等県内の若者の目線での観光企画・情報発信
② 地域課題解決に向けたニーズ調査	継続	地域課題解決に向けたニーズ調査を実施 (他部会連携の場合有)
③ 県内先進事例調査	継続	構成員間の課題共有や連携取組の検討を行うため、関係人口等の先進事例勉強会を実施
④ 産官学連携の機会創出	新規	産学官連携に向けた県内の企業、大学、高校及び自治体等の交流促進(他部会連携の場合有)

## 令和5年度予算（案）

（単位：千円）

項目	金額	備考
【収入の部】		
前年度繰越（見込）	1,400	
会費（35機関）	8,100	県内大学等(7) 3,150 経済団体等(8) 800 市町(17) 850 香川県 3,300 (内訳：別紙のとおり)
県補助金	30,000	
収入計	39,500	

項目	金額	備考
【支出の部】		
事業費	9,500	5,000 高大連携・進学推進事業、大学等連携強化事業、キャリア支援事業、地域企業魅力発信強化事業、地域活性化実証・実践事業など
事務費		4,500 事務局・部会運営費など
事業費（県補助対象）	30,000	プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業（共創推進強化事業）など
支出計	39,500	

## 大学・地域共創プラットフォーム香川会費

1. 令和5年度における会費については、プラットフォーム事業に要する経費等をもとに算定し、次の表に記載の額とする。
2. 香川県が負担する会費には香川県立保健医療大学の会費を含むものとする。

## ○県内大学等（順不同）

名称	会費
香川大学	450 千円
香川県立保健医療大学	—
四国学院大学	450 千円
徳島文理大学	450 千円
高松大学・高松短期大学	450 千円
香川短期大学	450 千円
せとうち観光専門職短期大学	450 千円
香川高等専門学校	450 千円

## ○経済団体等（順不同）

名称	会費
香川県商工会議所連合会	100 千円
香川県商工会連合会	100 千円
香川県中小企業団体中央会	100 千円
香川経済同友会	100 千円
香川県中小企業家同友会	100 千円
香川県農業協同組合中央会	100 千円
香川県漁業協同組合連合会	100 千円
香川県銀行協会	100 千円

## ○行政機関（順不同）

名称	会費
高松市	50 千円
丸亀市	50 千円
坂出市	50 千円
善通寺市	50 千円
観音寺市	50 千円
さぬき市	50 千円
東かがわ市	50 千円

三豊市	50 千円
土庄町	50 千円
小豆島町	50 千円
三木町	50 千円
直島町	50 千円
宇多津町	50 千円
綾川町	50 千円
琴平町	50 千円
多度津町	50 千円
まんのう町	50 千円
香川県	3,300 千円

# 大学・地域共創プラットフォーム香川 県補助金

30,000千円（2月県議会に提案中）

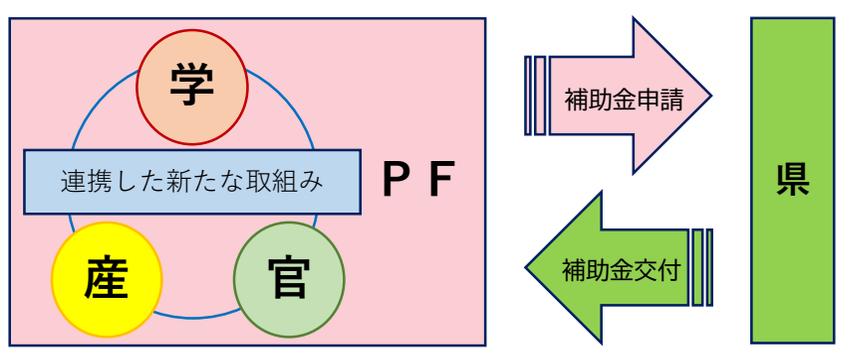
## 補助制度概要（見込み）

目的：就職や進学を契機とする若者の県外流出に歯止めをかけるため、県内の大学等・経済界・自治体がP Fの枠組みを活用して行う若者の県内定着等を図る新たな取組みを支援するもの。

スキーム：構成員が企画提案してP Fから申請→県審査後にP Fへ助成

補助率：10／10

その他：補助要件等検討中



## 令和4年度事業実施状況

## 1. 高大連携による県内高校からの進学推進事業（進学・教育部会）

取組	実施概要
① 出前講座	実施件数:66件(1/20現在) 出前講座名などの情報を県内高校へ郵送して周知した。また、小・中学校からの要望もあり講師を派遣した。
② 合同進学説明会	令和4年度は3校(香川中央高校、小豆島中央高校及び高松東高校)で実施し、高松東高校ではOBOGの現役大学生8名が対面や動画出演で県内大学のPR役として参加した。
③ 公開授業参観	・「アニメ・マンガ論」四国学院大学(10/10) 8名参加 ・「臨床医学各論演習A」徳島文理大学(10/22) 3名参加 ・「English Expression IV」徳島文理大学(11/19)1名参加 ・「観光振興・地域創生論」せとうち観光専門職短期大学(12/13) 参加者なし
④ その他の広報活動	(キャンパスガイドの作成・配布) 昨年度版を一部時点更新し、県内の高校2年生全員及び県内高校・中学校の各教室用に作成(11,000部、県内高校43校、中学校71校等へ送付)し、校長会等で積極的な活用を依頼。 (オープンキャンパスの周知) 県内高校に県内大学等のオープンキャンパス日程一覧を送付し、高校教員の参加について案内。

## 2. 県内大学等在学生の地域理解・定着意欲喚起事業（進学・教育部会）

取組	実施概要
① 単位互換	講座数 469 受講者数 16人(延べ18人)
② 地域志向科目の情報共有	4月に情報共有を行った。地域志向科目を活用するため、次年度は可能な範囲で単位互換科目に含めることとした。
③ 地域理解フィールド実習(集中)の共同開催	小豆島一帯においてフィールドワークおよびアイデア創出ワークを実施した。(10/28~10/30) 参加学生4名
④ FD・SD活動	危機管理シンポジウムを開催した。 (10/31、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 232名
⑤ 国際交流	香川大学グローバルカフェでの開催イベントに他大学等の留学生が参加する計画であったが、平日開催のため今年度は参加できなかった。

### 3. 卒業者の地域就職推進に向けたキャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① インターンシップ	香川経済同友会の会員を対象に受入企業を募集し、応募のあった5社の概要について、大学・地域共創プラットフォーム香川事務局に情報提供を行った。
② かがわーくフェア	<p>【参加者】</p> <p>令和4年6月開催 対面 延211人/オンライン 延70人            令和4年8月開催 対面 延111人/オンライン 延28人            令和5年3月開催 3月15日開催予定</p> <p>令和5年3月大学・短期大学・高等専門学校・専修学校などの卒業予定者(既卒者含む)及び一般採用希望者(就職氷河期世代を含む)を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面接」を開催。</p>
③ 業種別オンライン県内企業見学ツアー	<p>【参加者】(全て web 参加者)</p> <p>8月24日(水) 64人            8月31日(水) 54人            9月 7日(水) 69人</p> <p>延べ学生参加者数が昨年の150人から187人へと増加した。学生アンケートの結果、当ツアーへの評価は「満足」と「やや満足」の合計で9割を超えた。「短時間で様々な企業の情報を得ることができてよかった」などの感想が多数寄せられている。今後の課題として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.学生参加者の確保</li> <li>2.参加各企業の持ち時間(現在15分間)の検討</li> <li>3.コース内容の検討 などが挙げられる。</li> </ol>
④ うどん県の自治体で働こう大懇談会	<p>【参加者】</p> <p>9月28日(水) 延54人</p> <p>学生アンケートの結果、評価は「満足」が9割と高い満足度が確認できた。「一度に多くの自治体の話を聞いてよかった」「調べるだけではわからない情報を得ることができた」などの感想が多数寄せられている。今後の課題として、参加学生の確保、参加希望者が増えた場合の開催方法などが挙げられる。</p>
⑤ キャリア支援研修会	<p>【参加者】</p> <p>10月8日(土)19人(内訳:香川大学8人、香川短期大学8人、徳島文理大学2人、高松大学1人)</p> <p>元ハローワーク丸亀所長を講師として、就職活動の始め方等の説明、自己分析による就職適性検査を実施</p>
⑥ 公務員・国立大学法人等職員説明会	<p>【参加予定者】 2/6(月)現在(web 参加予定者含む)</p> <p>2月15日(水) 延391人            2月16日(木) 延460人</p>

#### 4. 地域活性化に係る事業策定のための提案収集事業（地域活性化部会）

取 組	実施概要
① アイデアソンの実施等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題へのアプローチとして、大学生や企業経営者、地域おこし協力隊など産学官の関係者が集まり、夏に計2回、「若者の定着する香川を目指して」をテーマに、対話を通じてアイデアを出し合うアイデアソンを実施した。</li> <li>・企業PR、学生企画ツアー、関係案内所などの様々なアイデアを参考として、テーマに沿ってWGを設け、取組みを進めている。</li> </ul>
② 産学官連携による実践	<p>(学生おすすめの観光情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光WGの取組みとして、大学生や若い自治体職員等が集まり、香川のおすすめ観光ポイントを出し合うグループワークを開催した。</li> <li>・第1段として、大学生が特定の地域で体験取材し、SNSを活用した若者目線の県内観光情報の発信に取り組んでいる。</li> </ul> <p>(学生目線による県内中小企業の課題解決)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを活用した学生目線による課題解決を目指し、大学生らがモデル企業を訪問し、現在の課題等のヒアリングを実施した。</li> </ul> <p>(関係人口等に関する勉強会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の優良事例から地域活動のポイント等を学ぶ勉強会等を開催した。(地域外の人材の受け皿となっている、東かがわ市五名地域で実施)</li> </ul> <p>(学生対象アンケート調査)【全部会共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職先選定時における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について検討し、今後の取組みにつなげていくため、県内大学等と県が就職支援協定を結ぶ県外大学の学生(就職活動を終えた4年生等)に対し、アンケート調査を実施した。</li> </ul>

#### 5. 情報共有及び外部への情報発信のためのデジタル環境の整備事業（共通）

取 組	実施概要
① 情報共有ツール導入	<p>全構成団体、延べ158名を利用者登録</p> <p>11月28日及び30日に構成員向け使用説明会を実施のうえ、運営委員会チームフォルダに当該説明会の動画を保存</p> <p>5月27日の第1回就職・産業振興部会をはじめ、各部会・ワークショップ等のオンライン会議に活用</p> <p>また、各会議(総会、運営委員会、3部会)の令和4年度資料を各チームフォルダに保存し共有</p>
② ホームページ作成	<p>プラットフォームの目的・組織体制をはじめ、各部会が実施するイベントなどの主催事業の他、共催・後援事業や話題等を中心に情報発信</p> <p>会員専用ページを設け、各種会議資料の閲覧やプラットフォーム事務局への照会フォームを活用することが可能</p> <p>完成イメージについては別紙参照</p>

## 県内大学等合同進学説明会

●大学5校、短期大学3校が合同で高校に出向いて説明

●実績(令和4年度)

香川中央高校	6月16日(水)	2年生・277名
小豆島中央高校	7月20日(水)	1～3年生希望者 (前・後半)延べ463名
高松東高校	9月28日(水)	1年生希望者 (前・後半)延べ243名



## 授業科目「総合的な探究の時間」の指導・助言

●大学等から合同で講師を派遣し、生徒の探究活動を支援

●実績(令和4年度)

高松北高校 12月16日(金) 2年生・206名

教員派遣校:5大学、2短期大学

●探究分野

・芸術・生活産業

・グローバル

・スポーツ・観光

・子ども福祉

・環境





- ・所要時間:各コース1時間30分 (1社15分)
- ・複数コースへの参加を歓迎
- ・カメラ、音声ともにOFFにして参加
- ・人事担当者や若手社員から直接話が聞ける!
- ・質問はチャットで!

【化学、薬品メーカー、商社コース】

8月24日(水)15:30~17:00

丸善工業株式会社 勇心酒造株式会社  
帝国製薬株式会社 株式会社伏見製薬所  
株式会社アムロン 大豊産業株式会社

【機械、素材メーカーコース】

8月31日(水)15:30~17:00

朝日スチール工業株式会社 鎌長製衡株式会社  
株式会社ヒューテック 株式会社マキタ  
オリエンタルモーター株式会社  
南海プライウッド株式会社

【印刷、サービス、食品メーカー、小売コース】

9月7日(水)15:30~17:00

小松印刷株式会社 穴吹エンタープライズ株式会社  
高松商運株式会社 株式会社味のちぬや  
農業法人有限会社井上誠耕園  
マックスパリュ西日本株式会社

ツアー参加者数(コース別、学校別内訳)

学校名	コース	化学、薬品メーカー、商社コース	機械、素材メーカーコース	印刷、サービス、食品メーカー、小売コース	計	昨年度(参考)
香川大学		27人	17人	39人	83人	81人
四国学院大学		6人	3人	2人	11人	17人
徳島文理大学		8人	6人	8人	22人	24人
高松大学		2人	2人	2人	6人	13人
香川短期大学		18人	19人	11人	48人	0人
せとうち観光専門職短期大学		3人	1人	7人	11人	0人
香川高等専門学校		0人	6人	0人	6人	15人
計		64人	54人	69人	187人	150人

ツアーに参加した感想(学生アンケート調査結果より)

ツアーの実施方式への評価	効率	多数の、複数の、様々な企業の情報を知れる	35
		一気に、一度に、短時間で知れる	13
		比べながら知れる	2
企業説明への評価	気軽さ	気軽に参加できる	4
		自宅で知れる	3
		気軽に質問できる	5
参加して得られた内容に関する評価	担当者	丁寧、分かりやすい	5
		業界・企業の勉強になる	9
	情報収集	知らなかった企業を知る	9
		企業の業務内容ほかを知る	12
就活	就職活動の参考になる	14	

# うどん県の自治体で働こう大懇談会

令和4年9月28日(水)

県内各自治体の人事担当者やOB/OGが一堂に集まる懇談会です。  
各自治体のテーブルを、20～30分毎に移動して懇談します。

第一部	
10:30～12:00	
香川県	丸亀市
観音寺市	さぬき市
香川県警察	

第二部	
13:00～14:30	
高松市	坂出市
善通寺市	三木町
香川県教育委員会	

【参加者数】  
第一部 28名  
第二部 26名

【参加学生の主な感想】  
・様々な自治体の話を聞くことができた。  
・聞きたかったことを聞くことができた。  
・実際に働いている人の生の声を聞くことで雰囲気なども知ることができた。



場所 香川大学幸町キャンパスオリーブスクエア2F多目的ホール

かがわーくフェア共催事業 ■主催/大学・地域共創プラットフォーム香川

## キャリア支援研修会

就職活動を始める前にあなたの強みを発見しよう。

2022 **10/8(土)** 対面とリモートのハイブリッドで  
午前と午後と同じ内容を2回実施  
※リモートは別窓で実施していただきます。

【午前の部】10時～受付開始  
AM 10:30～12:00 (対面:38名/リモート50名)

【午後の部】13時～受付開始  
PM 13:30～15:00 (対面:38名/リモート50名)

■場 所: 香川短期大学 本館1階講義室

■対象者: 大学・地域共創プラットフォーム香川を構成する大学等の所属中でない1・2・3年生の学生が対象となります。(なお、コロナ感染予防対策として、対面は定員38名の2部制で72名の定員、リモートは定員50名の2部制で100名の定員となっています。)

■講 師: 中尾 利枝子 先生 (元)コープあまの里/コープあまの里 香川センター/企業研究センター 香川短期大学/キャリアセンター/キャリアアドバイザー

■研修内容:

- 就職活動の始め方等の説明  
- 自己分析による自己理解と就職活動の流れや就職活動の取り組み方を説明します。
- 企業研究  
- 就活に役に立つ企業研究の方法やポイントを説明します。

■お申込み: 右のQRコードからお申込みください。



大学別 参加数	人数	割合
香川大学	8	42%
香川県保健医療大学	0	0%
徳島文理大学香川キャンパス	2	11%
高松大学	1	5%
高松短期大学	0	0%
四国学院大学	0	0
香川高等専門学校	0	0
せとうち観光専門職短期大学	0	0
香川短期大学	8	42%

【参加者の意見】

- ・インターネットで調べるよりも細かな情報を知ることができた
- ・いつまでどのような準備や取り組みをしなければならないか、具体的で分かりやすかった
- ・この講義を聞いて就職活動の幅を広げたいと思った
- ・研修会の時間を40～60分にして欲しい
- ・研修内容を知ることができてとても良かったと思うが、少しお話が長かった

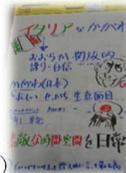


## ① アイデアソンの実施等

目的：地域課題を共有し、若者目線による課題解決策を探る。

地域課題へのアプローチの1つであるアイデアソン  
(対話を通じてアイデアを出し合うイベント)を  
「若者の定着する香川を目指して」をテーマに実施した。

大学生や企業経営者、地域おこし協力隊など延べ75名参加  
(7/26と8/10に、香川大学で2日間実施)



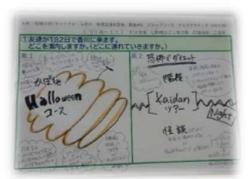
今後の取組みの参考となる様々な若者定着のアイデア  
(企業PR、学生企画ツアー、関係案内所など)が出され、  
多様なメンバー間の新たなつながりも生まれた。  
(アイデアソンの実施後、部会において報告・意見交換会を行った。)

	アイデアソン内容	キーワード
A 就業支援	身近に魅力的な企業があると思ってもらえるよう、 成人式などの大きなイベントごとで県内の企業PR	場の活用
B 地元愛・進学	学生が企画する、 香川の資源や自然の良さを伝えるツアー	共感
C 商店街活性化	地域のひとと資源、地域の今と過去をつなぐ、 魅力ある商店街づくり	持続性
D コミュニティ形成	移住に対する不安・ギャップ解消のため、 移住者が気軽に相談できる関係案内所	多様性
E 働き方改革	二拠点生活を実践するため、 おためしで泊まれるワイクリー古民家	働き方
F 観光	香川の良さに県民が気付くため、 日常的に香川の魅力を味わい満喫できる、 移動型フェスティバル	心地よい生き方
G 起業	挑戦できる環境づくりのため、 起業の成功体験や失敗体験が蓄積できるような、 設備やエリア等の提供	循環する仕組み

## ② 産学官連携による実践 (学生おすすめの観光情報発信)

目的：地元愛を高め、地域資源の活用を図るため、学生とタイアップして若者目線の観光企画等に取り組む。

大学生や若い自治体職員等が集まり、  
「香川のおすすめ観光ポイント」を出し合う  
グループワークを開催した。



大学生や企業経営者、地域おこし協力隊など25名参加  
(9/28に、せとうち観光専門職短期大学で実施)

市町の域を超えて連携して観光施策を展開することや、  
瀬戸内海は陸地(他地域からの窓やドア)として考える  
ことが重要な視点として共有された。

実践の第1段として、大学生が特定の地域で体験取材し、  
SNSを活用した若者目線の県内観光情報の発信に取り組んでいる。

①友達が1泊2日で香川に来ます。どこを案内しますか(どこに連れていきますか)。

コンセプト	主なアイデア・案内ポイント(抜粋)
王道!	おいりソフト(こんぴら)、天空アクアリウム、サンセット(臨海公園)
レトロ旅	津雲除付体験、北浜アリー(カフェ)、城広、古街散策
運まかせ旅	サイコロ旅
お金をかけない旅	自転車、電動自転車
瀬戸内海温泉	トレンビュー花見台(観石島)、黒浜(岩黒島)、瀬戸大橋登頂体験
おじさん	釣り、地酒、1棟貸ゲストハウス
心浄化の旅	四国水産館、観音寺、民宿がもう家(飯出)、白峯寺
のんびり過ごす	柏原渓谷tatutaの森(錦川町)、BBQ、散策、たき火
パワースポット巡り	千年オリーブ大樹、重岩、なかぶら(赤穂)、石切工場
高松でアートづくり	やしまる、絵巻園、またままい(流政之)、川島猛アートファクトリー
家族向け香川ぐるり旅	白鳥動物園、マールレッコ(ハマチ)、和盆栽たためき体験
学生向けまとめてバック	四国水産館、藝術喫茶清水温泉(レトロカフェ)、雲辺寺、鳥旅
三豊	グランプレミアせとうち(雲辺温泉)、天空のブランコ(雲辺寺)、とうふ作り体験(Caféにがり龍門)
カフェめぐり	和カフェぐら(前島)、北浜アリー、仏生山の森、KITOKURAS(カフェ)
香川陸地部横断旅	瀬島アート、みかん狩り、塩づくり、うちわづくり
香川海横断旅	瀬島、塩巻諸島、与島、小豆島、直島
体験	自然体験(手織等工業クラフト)、セトウチdeデトックス、フォトジェニックコース
かぼちゃHalloweenコース	音島のかぼちゃでフォト撮影、小豆島でかぼちゃのグルメ、カフェのクーポン券
Kaidanツアー	階段(ex:こんぴら・天空の鳥居、階段の歩数でポイントget)、怪談(ex:夜のお参りでポイントget)

## ②産学官連携による実践（学生目線による県内中小企業の課題解決：地域DX）

目的：デジタルを活用し、学生目線により中小企業の課題解決を図る。  
（データ入力の手間の解消など）



課題等の深掘りや要件定義・解決策の共有を行うため、  
大学生らがモデル企業を訪問し、現在の課題等についてヒアリングを実施した。



## ②産学官連携による実践（勉強会の開催）

目的：県内の優良事例から、地域課題解決のヒントや地域活動のポイント等を学び、今後の取組みにつなげる。



地域の担い手の減少等が課題である中、  
地域外の人材と連携した地域づくりに取り組み、  
地域外の人材の受け皿となっている、東かがわ市五名地域で勉強会を開催（2/13）。



## ②産学官連携による実践（学生対象アンケート調査）

課題：若者の県外流出が続いている。（特に20～24歳、女性）  
学生の就職活動の動き、企業選定のポイント等の情報がつかみ切れていない。



目的：就職先選定時における学生の思考・行動や、  
就職時の若者の転出超過の要因について把握・検討し、  
企業の人材確保や若者の県内定着等を図る今後の取組みにつなげる。



県内大学等と県が就職支援協定を結ぶ県外大学の学生  
（就職活動を終えた4年生等）に対し、アンケート調査を実施した。  
（設問例：就職活動の方法、企業選定時に重視する要素、香川県内での就職希望など）

～令和4年度に大学等を卒業予定のみさまへ～  
**就職活動Webアンケート調査への回答のお願い**  
抽選で100名にQUOカードPay 1,000円分が当たる！  
香川の県内企業に向けた就職活動のヒントや、今後の取組みにつなげる。県内の企業・官公庁の就職活動に関するアンケート調査を実施します。  
＜応募先＞右のQRコードからアクセスして、県のWebフォームでご回答をお願いします。  
＜調査期間＞令和4年2月17日（金）まで  
＜対象者＞  
・県内企業・官公庁の就職活動に関するアンケート調査に協力した学生（アンケートへの回答は任意です。）  
・就職活動を終えた4年生等  
・県外大学等と香川県が就職支援協定を結ぶ県外大学の学生（アンケートへの回答は任意です。）  
＜お問い合わせ先＞  
香川県庁 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課  
〒760-0801 香川県高松市東通町1-1-1  
TEL:087-832-3100

調査中のアンケート：【香川県】就職活動の状況等に関するアンケート調査

※この度は、本アンケート調査へのご協力いただきありがとうございます。  
※本アンケート調査は、香川県県内に大学等を卒業予定で、就職活動を行った学生のみなさまに、就職活動の状況等をお伺いし、県内企業・官公庁の就職活動に関するアンケート調査を実施いたします。  
※ご回答いただいた学生のみなさまから、抽選で100名の方に、QUOカードPay1,000円分をプレゼントいたします。香川県の活性化のため、みなさまのご協力をお願いします。

【調査対象】 令和4年度に大学等を卒業予定で、就職活動（就職企業・官公庁等の就職にむかふための活動）を行った、香川県内の学生。および「香川県と県外大学等との就職支援協定」を締結した大学等。

【調査実施期間】 2022年12月14日（水）～2023年2月17日（金）

【実施場所】 大学・地域共創プラットフォーム（高松市、香川県の大学、経済団体及び市町村）

【お問い合わせ先】 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課  
TEL:087-832-3100  
FAX:087-832-3105  
メールアドレス: cshk@pref.kagawa.jp

9. 就職活動を開始したときに、重視していたことを教えてください。 **必須**

最大3つまで選択してください。

- 企業等の安定性
- 企業等の成長性
- 企業等の知名度が高いこと
- 給与等が高いこと、福利厚生が充実していること
- 希望する勤務地であること
- 残業が少ない・休暇が取りやすいこと、ワークライフバランスが充実していること
- 柔軟な働き方（テレワーク、働き方改革など）ができること
- 自分のやりたい仕事があること、やりがいがあること
- 自分の能力や個性を活かせること

17. 就職活動を通して、香川県での就職について検討しましたが、 **必須**

- 検討した。（香川県内を中心に検討した）
- 検討した。（香川県内やその周辺（四国や中国地方）を中心に検討した）
- 検討した。（香川県内を主め、他県にこだわらず検討した）
- 検討した。（香川県内を主に検討したが、香川県内も一部検討した）
- 検討しなかった

18. 香川県内での就職を検討した際に、困難に感じたことは何ですか。 **必須**

就職活動の状況をjyokyoによって入力条件がかわります。

検討前での就職を検討した方にお答えください。  
あてはまるものをすべて選択してください。

- 希望する職種・企業等がなかった。（女/男）
- 希望する勤務地の企業等がなかった。（女/男）
- 希望する待遇の企業等がなかった。（女/男）
- 企業等の情報がなかった・入手しづらかった



HOME    ごあいさつ    目的    組織・運営    ご意見・お問い合わせ    プライバシーポリシー    会員専用ページ

「大学・地域共創プラットフォーム香川」は、県内の高等教育機関、産業界、自治体が、産官学のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成と定着、さらに次世代の活躍の場づくりを共創し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

# NEWS

お知らせ・ご案内

全表示    イベント予定    開催報告

- 2023.02.09 **予定** かがわークフェア(地元企業就職フェア)を開催します!!
- 2023.02.09 **予定** かがわークフェア2023(春の就職面接会&企業説明会)を開催します!!
- 2023.02.09 **予定** 公務員・国立大学法人等職員説明会を開催します!!
- 2023.02.09 **予定** 関係人口に関する勉強会(現地視察)を開催します!!
- 2022.12.16 **報告** 高校の「総合的な探究の時間」で大学・短大の教員が指導・助言を行いました

過去の一覧 ▶

# TOPICS

話題・出来事

**公務員・国立大学法人等職員説明会**

開催日時  
2/15(水) 9:00-17:00  
2/16(木) 9:00-17:00

開催形式  
■対面・オンライン参加可(事前申込制)  
■香川大学 香川北キャンパス3号館314教室  
■申込・詳細: [こちら](#)

人気の官公庁自治体が集結!

参加機関

1 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
2 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
3 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明

**ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム**

開催日時  
2/15(水) 9:00-17:00

開催形式  
■対面・オンライン参加可(事前申込制)  
■香川大学 香川北キャンパス3号館314教室  
■申込・詳細: [こちら](#)

参加機関

1 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
2 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
3 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明

**かがわークフェア**

開催日時  
2/15(水) 9:00-17:00

開催形式  
■対面・オンライン参加可(事前申込制)  
■香川大学 香川北キャンパス3号館314教室  
■申込・詳細: [こちら](#)

参加機関

1 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
2 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明
3 目標	自治体説明	自治体説明	自治体説明

 **キャンパスガイド・かがわ**  
県内進学情報

 **キャリアガイド・かがわ**  
県内企業情報

 **ローカルガイド・かがわ**  
県内自治体情報

 **ライフガイド・かがわ**  
県内生活情報

## MEMBER

大学・地域共創プラットフォーム香川 構成団体

### 大学等(大学・短大・高専)

 香川大学	 香川県立保健医療大学	 四国学院大学	 徳島文理大学
 高松大学	 香川短期大学	 高松短期大学	 せとうち観光専門職短期大学
 香川高等専門学校			

### 地方自治体(香川県・市・町)

 香川県	 高松市	 丸亀市	 坂出市
 宇治野市	 観音寺市	 さぬき市	 東かがわ市
 三豊市	 土庄町	 小豆島町	 三木町
 直島町	 宇多津町	 綾川町	 琴平町
 多度津町	 まんのう町		

### 産業界(経済団体等)

 香川県商工会議所連合会	 香川県商工会連合会	 香川県中小企業団体中央会	 香川経済同友会
 香川県中小企業家同友会	 香川県農業協同組合中央会	 香川県漁業協同組合連合会	 香川県銀行協会

大学・地域共創プラットフォーム香川(事務局)

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 研究交流棟6階

香川大学 地域・産官学連携戦略室内

TEL.:087-832-1368 FAX:087-832-1357

E-mail:platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp

Copyright © Platform KAGAWA All Rights Reserved.

## 令和4年度予算 執行状況報告(見込)

(単位:円)

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【収入の部】				
会費(35機関)	8,100,000	8,100,000	0	(内訳) 県内大学等(7) 3,150千円 経済団体等(8) 800千円 市町(17) 850千円 香川県 3,300千円 ※高松大学及び高松短期大学は一人として負担 ※香川県立保健医療大学は香川県負担分に含む
預金利息	0	19	19	
収入計	8,100,000	8,100,019	19	

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【支出の部】				
事業費				
共通事業費	1,800,000	1,577,400	▲ 222,600	ホームページ制作
部会事業費	1,800,000	1,114,032	▲ 685,968	キャンパスガイド作成、かがわークフェア開催、ニーズ調査 ほか
事務費				
事務局運営費	4,500,000	4,007,502	▲ 492,498	人件費、印刷費、通信費など事務経費
次年度繰越【見込】		1,401,085	1,401,085	
支出計	8,100,000	8,100,019	19	

## 令和4年度 名義使用の許諾について

種別	行事名	主催者	共催者又は後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
後援	高校生お弁当の日甲子園2022	香川短期大学	【後援者】 香川県、香川県教育委員会、宇多津町、香川県高等学校教育研究会家庭科部会、香川県栄養士会、大学・地域共創プラットフォーム香川	県内の農林水産物とその加工品の理解を深め、食を通じた健康づくりに取り組む	県内高校生及び近隣の県外高校生	「SDGsにつながる弁当」をテーマとした弁当を提案する	《募集期間》 7/11～ 9/7
後援	徳島文理こども大学	徳島文理大学 香川キャンパス	【後援者】 大学・地域共創プラットフォーム香川	人文社会科学系、自然科学系の学びを子ども達に展開し、知的好奇心を育む	県内小学生4～6年生と保護者	「世界の国旗について学ぼう」、「コンピュータでプログラミング」ほか、計6講座を開講する	7/24、 7/25、 7/31、 8/1、 8/31
後援	高校生のためのジオアート Jr.マイスター養成講座キックオフ・シンポジウム	香川大学	香川県教育委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会	「ジオアート Jr.マイスター養成講座」を紹介するとともに、養成したい人材像を示すためのシンポジウムを開催	高校教員、高校生（主に1年生）とその保護者など	①趣旨説明：長谷川修一（香川大学特任教授） ②基調講演：川村教一氏（兵庫県立大学大学院教授） ③パネルディスカッション	8/9

種別	行事名	主催者	共催者又は後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
共催	香川大学危機管理シンポジウム	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	国立大学協会、土木学会 四国支部香川地区、土木学会安全問題研究委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川	「香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構」の活動成果を地域に還元し、地域の安全・安心に寄与することを目的としてシンポジウムを開催	関係機関、企業、一般市民、本学教職員・学生等	学外講師による危機管理研究に関する講演及びパネルディスカッション	10/31
後援	中高生のための薬剤師セミナー	徳島文理大学 香川薬学部	香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、株式会社レディ薬局、香川県、大学・地域共創プラットフォーム香川	中高校生に薬剤師の魅力を伝え、香川薬学部の進学者、並びに香川県で従事する薬剤師の増加を目指す	主として香川県内の中学生・高校生とその保護者、及び中学校・高等学校教員	講演、パネルディスカッション、薬剤師体験会、進路相談、個別質問コーナー	10/15
後援	徳島文理大学比較文化研究所・展覧会「書籍の装丁と印刷術を辿る」	徳島文理大学比較文化研究所	香川県教育委員会、さぬき市教育委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川	17世紀後半から18世紀前半の洋装本も展示することで、装丁や印刷技術に関して同時期における和洋の違いも見てもらう	香川県民および関係機関	展覧会「書籍の装丁と印刷術を辿る」(入場無料・事前申込み不要)	11/14～ 12/9

種別	行事名	主催者	共催者又は後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
後援	アオ活！	香川県中小企業家同友会	大学・地域共創プラットフォーム香川	どのような仕事があるか学生に知ってもらい、中小企業の魅力発信の場・社員教育の場とする	高校生、大学生、短大生、専門学生、第2新卒者、教員等	業界代表者が業界・役割等を紹介し、具体的な仕事の内容や業界における役割等を紹介する	1/21
後援	香川と都市圏の大学連携推進事業	香川大学	香川県、大学・地域共創プラットフォーム香川	香川と都市圏の大学連携推進事業について連携大学と共に成果報告及び今後の事業展開について考えるシンポジウムを開催	関係大学の教職員及び学生、県内大学・自治体・企業関係者等	講演、学生報告、学長対談	1/17
後援	ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	国土交通省四国運輸局、香川県、香川県教育委員会、四国ツーリズム創造機構、香川県観光協会、大学・地域共創プラットフォーム香川	ジオツーリズムを取り入れた地域活性化手法を広く県民に知ってもらうと共に、今後の取組について考える	香川県内の一般市民、行政機関、教育関係者、観光協会など	活動報告、基調講演、パネルディスカッション	2/15

## 大学・地域共創プラットフォーム香川規約

(名称)

第1条 本会は、大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム」という。）と称する。

(目的)

第2条 プラットフォームは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「県内大学等」という。）を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 プラットフォームは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業
- (2) 地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業
- (3) 地域の産業振興に関する事業
- (4) 県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業
- (5) 県内大学等の情報の提供・広報に関する事業
- (6) その他プラットフォームの目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 プラットフォームは、別表の左欄に掲げるもの（以下「構成員」という。）をもって組織する。

(入退会)

第5条 プラットフォームに入会しようとするものは、書面により会長に申し出るものとし、第11条に定める総会の議決を経て、入会することができる。

- 2 構成員が、プラットフォームを退会しようとする場合には、原則として退会する3か月前までに、書面により会長に申し出た上で、第11条に定める総会の議決を得なければならない。

(機関)

第6条 プラットフォームは、第3条の事業を行うために、総会、運営委員会、部会及び事務局を設置する。

(役員)

第7条 プラットフォームに次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

(選任等)

第8条 プラットフォームに会長を置き、会長は、香川大学長をもって充てる。

- 2 前条の副会長及び監事は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者のうちから、総会において互選により選任する。
- 3 副会長及び監事の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 補欠の副会長及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 副会長及び監事は、前2項の規定にかかわらず、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。
- 6 会長、副会長及び監事（以下「役員」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の3分の2以上の議決により、解任することができる。
  - (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - (2) 職務上の義務違反その他役員にふさわしくない行為があると認められるとき。

(職務)

第9条 会長は、プラットフォームを代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、会計を監査する。

(報酬)

第10条 役員は、無報酬とする。

(総会)

第11条 総会は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者（以下「委員」という。）により構成する。

- 2 総会は、次の各号に掲げる事項を審議・決定する。
  - (1) プラットフォームの運営に関する重要事項
  - (2) 事業計画に関すること

(3) 予算及び決算に関する事項

(4) 副会長及び監事の選出に関する事

(5) その他重要事項

3 総会は、会長が招集し、その議長となる。

4 総会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。

5 総会の議事は、出席した委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 やむを得ず総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって表決権を行使することができる。これにより表決権を行使した委員は、第4項の規定については出席したものとみなす。

7 総会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(運営委員会)

第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。

(1) 中長期計画の企画・立案に関する事

(2) 事業計画の企画・立案に関する事

(3) 予算の企画・立案に関する事

(4) 部会の設置・廃止の検討に関する事

(5) プラットフォームの会費の検討に関する事

(6) その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関する事

2 運営委員会は、委員が指名する者及び事務局長(以下「運営委員会委員」という。)により構成することとし、委員は、1名の運営委員会委員を指名するものとする。ただし、特別の事情がある場合には、この限りではない。

3 運営委員会は、委員会において審議・決定した事項を総会に報告しなければならない。

4 運営委員会は、事業実施を円滑に推進するため、必要に応じ、別途、部会及びその他の組織を設けることができる。

5 前条第3項から第7項について、「総会」を「運営委員会」、「委員」を「運営委員会委員」、「会長」を「事務局長」と読み替えて準用する。

6 運営委員会は、必要に応じ、書面により運営委員会委員の意見を聞くことができる。書面による運営委員会委員への意見聴取の結果は、前項により準用する前条第5項に定める運営委員会における議決と同等の効力を有する。

(部会)

第13条 プラットフォームは、事業運営のため部会を置く。

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第14条 プラットフォームに関する事務を処理するため、香川大学に事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長を置く。

3 事務局長は、会長が指名する者をもって充てる。

4 事務局は、総会及び運営委員会の事務を処理する。

(会計)

第15条 プラットフォームの会計は、構成員の会費、負担金、寄付金、補助金及びその他の収入をもって充てることとし、会費に関し必要な事項は、別に定める。

2 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の変更)

第16条 この規約は、総会の議事を経なければ変更することはできない。ただし、その変更が、軽微な場合には、運営委員会において、規約の変更を行うことができる。

2 前項ただし書きにより、規約の変更を行った場合には、運営委員会は、総会においてその内容を報告しなければならない。

別表（第4条関係）（順不同）

○県内大学等

名称	役職
香川大学	学長
香川県立保健医療大学	学長
四国学院大学	学長
徳島文理大学	学長
高松大学	学長
香川短期大学	学長
高松短期大学	学長
せとうち観光専門職短期大学	学長
香川高等専門学校	校長

○経済団体等

名称	役職
----	----

香川県商工会議所連合会	会長
香川県商工会連合会	会長
香川県中小企業団体中央会	会長
香川経済同友会	代表幹事
香川県中小企業家同友会	代表理事
香川県農業協同組合中央会	代表理事会長
香川県漁業協同組合連合会	代表理事会長
香川県銀行協会	会長

○行政機関

名称	役職
高松市	市長
丸亀市	市長
坂出市	市長
善通寺市	市長
観音寺市	市長
さぬき市	市長
東かがわ市	市長
三豊市	市長
土庄町	町長
小豆島町	町長
三木町	町長
直島町	町長
宇多津町	町長
綾川町	町長
琴平町	町長
多度津町	町長
まんのう町	町長
香川県	知事

附則

- 1 この規約は、令和4年3月28日から施行する。
- 2 この規約の施行後、最初に任命される第7条に定める副会長及び監事の任期は、第8条第3項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。
- 3 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。